

令和4年度 木島平村立木島平中学校グランドデザイン

探究・創造・共同する生徒

「ひと、もの、こと」との出会いと対話によってひらかれた人間関係の構築と、真正な学びを追究します。

教師主導の画一的な教育、一斉一律の教育ではなく、生徒主体の「自律した個の学び（個別最適化された学び）」、「探究的な学び」を大切にします。（令和の日本型教育）

気づき、自己を問い直し、新たに自己を編み直していけるよう、多様な考えや価値に触れる機会（異年齢同士がかかわる場、多種多様な話が聞ける場）を大切にします。（全校道徳、交流給食、縦割清掃、音楽集会、生徒集会等の各種集会、講演会等）

自ら「創る」感覚を醸成し、自己実現につながるエネルギーを引き出せるよう、日常的な生徒会活動や行事における役割と分担を、生徒自らが主体となって取り組みます。

関係をつくる力(共同)

自らをひらき、他者を感じる生徒

自主的・実践的な態度(創造)

集団に働きかけ、集団にある喜びを感じる生徒

合言葉「き・じ・ま」

きれいな歌声
じみちな清掃
まごころ挨拶

人権意識を健全に育てていくために、自他の尊厳が互いに尊重される環境・人間関係・授業づくりに取り組みます。

合言葉「き・じ・ま」を大切にしながら、他者を大切にす木島平中学校の伝統を受け継ぐ風を醸成していきます。

木島平村の文化や伝統を再発見する場やルクセンブルク交流での異文化体験等、文化を育む学校環境づくりをめざします。

生徒の学びの事実を基に、研究協力を招いての研修授業や授業記録（映像等）を用いて行うリフレクション等を重ね研鑽します。

生徒一人一人に寄り添った安心安全に過ごすことができる居場所を大切にするために、校内環境づくりや、SSWやSC等との連携、各種アンケートや年3回の教育相談を実施します。

年6回の自主公開学習検討会を研修の柱とし、教師は各自の自己テーマ（課題）を明確にしながら授業づくりの質の向上をめざします。

総合的な学習の時間において、地域課題をテーマに、SDGsとかかわらせ、仲間と協働しながら探究し、新しい価値を創造・発信する力を醸成します。

安全安心な生活、食育の推進、心身の健康の保持増進に向け、学校と家庭や地域との連携を大切にしながら取り組みます。

探究する力

夢中・工夫・もがく生徒
↓
世界づくり・仲間づくり・自分づくり

学校運営協議会と連携して、家庭や地域が小中一貫教育に参画できる環境を整え生徒のふるさとへの誇りと愛着を育てます。

「家庭学習の手引き」を元に、家庭学習を授業と関連づけ、家庭と連携して自ら探究する生徒の育成を推進します。

重点1 夢中になって仲間と工夫しながら学び合い、もがきながら自己を形成していく生徒の育成（探究的な学びの保障）

重点2 〈わたし〉と向き合い、〈わたし〉を受け入れ、ひらいていく生徒の育成（居場所）

重点3 出会いと対話を通して、気づき・問い直し・新たに編み直していく生徒の育成（つながりの保障）

学校教育目標 心と体をひらいて学ぶ生徒 「探究・創造・共同する生徒」

木島平村教育大綱 (R2~R6)
～基本理念～
ふるさと木島平を心に刻む教育実践

学校教育の充実を図る基盤 1
「協同する学び」でつなぐ小中一貫教育の学校づくり

学校教育の充実を図る基盤 2
木島平型コミュニティ・スクールの充実

(H30~R4) 第3次
長野県教育振興基本計画
「学び」の力で未来を拓き、
夢を実現する人づくり